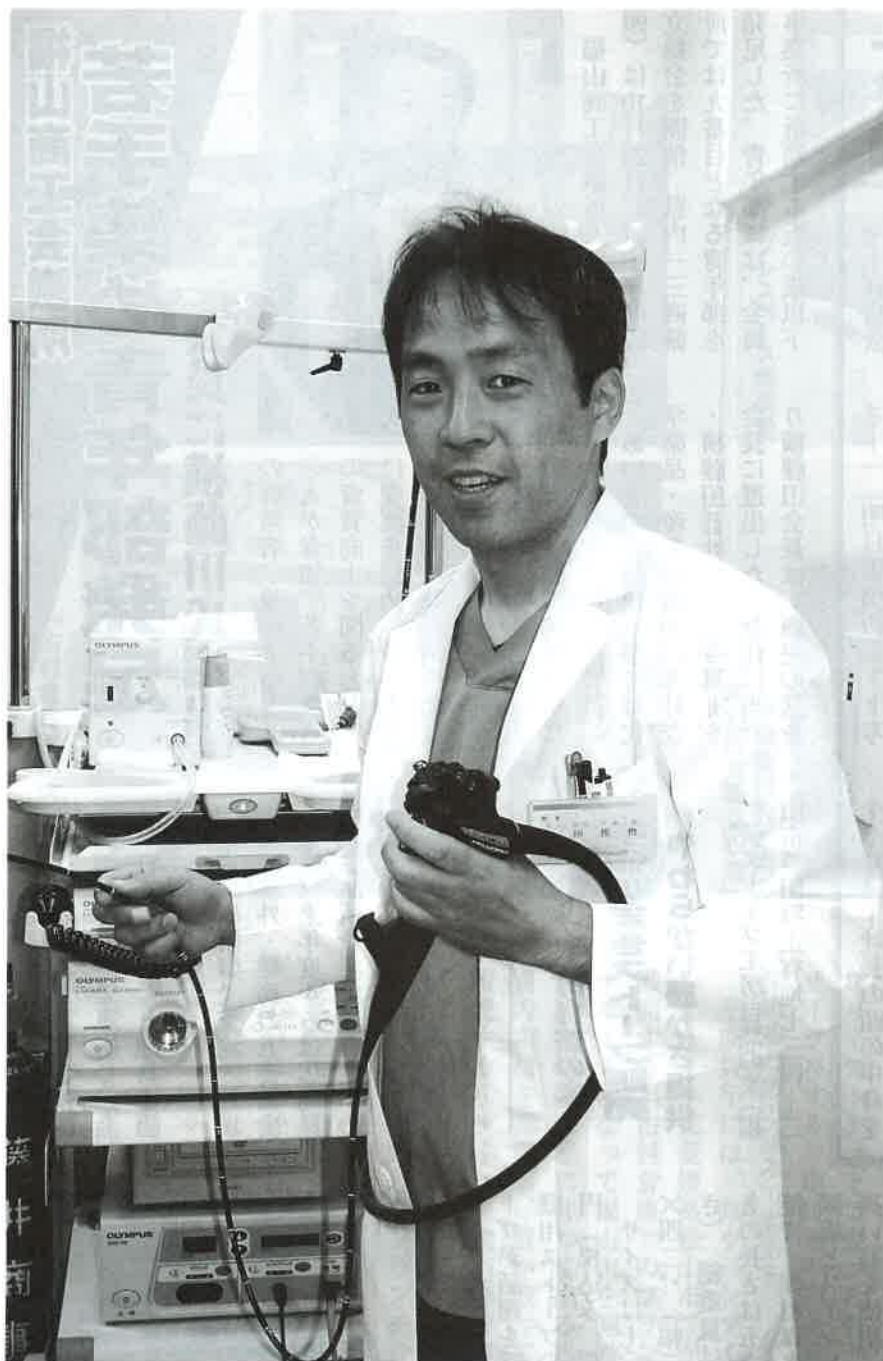


# 内視鏡技術が実現する 患者負担の少ない診療



「内視鏡なら患者さんの体力の消耗を防ぎつつ、症状を改善できる。従来なら手術を行うような症例でも、検査と同時に治療することが可能になる」。内視鏡診療では国内でも有数の病院に勤務、その後も研さんを重ねた。今年6月には、快適な環境で検査を受けられる設備を整えて開業した。急ぐ人に対しては当日予約でも胃カメラ検査をするなど、個人クリニックならではの柔軟な対応が好評だ。診察室の隣には、ホテルの一室をコンパクトにまとめたような小部屋が三室並ぶ。「大腸の検査は、腸をきれいにするのに時間がかかる。なるべく患者さんに快適に過ごしてほしくて、トイレも併設した部屋を造った。テレビを見ながら、自宅と同じようにのんびり過ごしていただきたい」

大腸検査は医師の技術の差が出やすい部位とされ、患者の負担が大きいイメージがある。以前は腸の洗浄のために約二リもの液状の薬を飲む必要があった。「最近は錠剤もあり、患者さんの抵抗感は随分少なくなった。便の検査も有効だとは思いますが、検便では、進行がんでも三〇%は発見できないというデータもある。五〇代になったら、一度は内視鏡による検査を受けてほしい」

同院の大腸検査の予約は前日ま